

平成 27 年度 技術講習会(本部提案型講習会) 実施報告書

—下水道施設耐震計算例 2015 年版 管路施設編—

1. 講習会の概要

「下水道施設の耐震対策指針と解説-2014 年版-」が平成 26 年 5 月に改定発刊されたが、周面せん断力を考慮することや、ばね値の計算方法が変わったことなど、耐震計算方法が従来と大幅に変更となった。また、指針には、新たに既設のマンホールやボックスカルバートの浮上判定が追加されている。さらに、既設ボックスカルバートなどの構造物に対して、高度な設計手法の適用を推奨する内容となっている。

このような状況を踏まえ「下水道施設耐震計算例-処理場・ポンプ場編 2015 年版-」が発刊された。

本講習会では、改定に携わった委員の方をお招きし、改定を行った際の苦勞した点などを交えながら、2001 年版との違いや、主な改定内容について、ご説明いただきました。

■ 関水コン技術講座のプログラム

I. 日 時 平成 27 年 12 月 10 日 (水) 13:30~16:45

II. 講演会 講演 1 : 第 1~3 章、第 4 章 第 1 セッション

講 師 : 管きょ小委員会委員 (株)昭和設計 峯山 恵光 氏

講演 2 : 第 4 章 第 2 セッション

講 師 : 管きょ小委員会委員 (株)日水コン 千葉 智晴 氏

講演 3 : 第 4 章 第 3 セッション

講 師 : 管きょ小委員会委員 日本水工設計(株) 山本 忠典 氏

講演 4 : Q&A

講 師 : 管きょ小委員会委員 (株)日水コン 千葉 智晴 氏

会 場 : 昭和設計大阪ビル 2 階 会議室

2. 出席者の状況とアンケート調査結果

出席者は、74 名の申し込みに対し、当日、協会員 27 名、地方公共団体 22 名、他コンサル 3 名に加え、主催者・講師 8 名、報道関係 2 名、計 62 名の参加となった。

アンケート調査では、52 名の方から回答を頂いた。この内訳は、関水コン講習会への初参加の方が 51%を占め、また、演題に対する評価は、“参考になった”、“少し参考になった”が約 90%に達している。このことから、改めて本テーマの適時性と PR 効果を確認した。

3. 最後に

上下水道は、国民の生活改善、環境保全、防災対応、或いは産業などを支える大事なインフラとしての役割があり、今回のテーマである「下水道施設耐震計算例」は、水コン協会員および上下水道事業関係者に、耐震検討にあたっての計算方法について認識を深めて頂くためにも大変有意義でした。水コン協としては、本テーマやこれに関連する事項に係る技術提供、情報共有など、講習会等を通して継続的に貢献することを求められていると考える。

会場の様子



= 開会の挨拶 小畑幹事 =



= 講演1 峯山講師 =



= 講演2 千葉講師 =



= 講演3 山本講師 =



= 聴講の様子① =



= 聴講の様子② =

平成27年度技術講習会（本部提案型講習会） アンケート集計結果

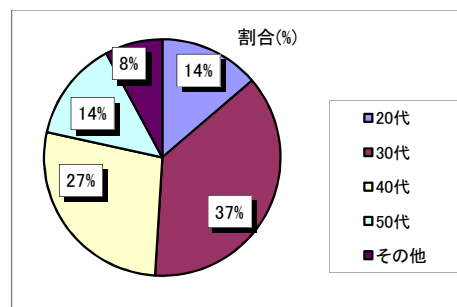
実施日：平成27年12月10日（木）

◆ 技術講習会について

1- (1) : 年齢

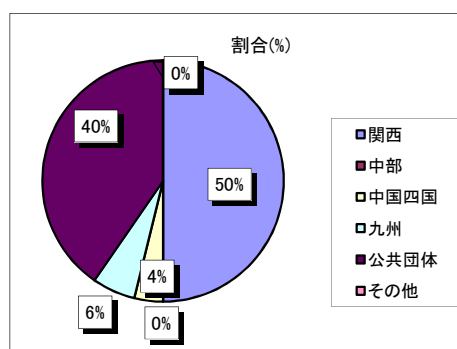
年代	人員(人)	割合(%)
20代	7	14%
30代	19	37%
40代	14	27%
50代	7	14%
その他	1	8%
計	51	100%

*無回答・・・1名あり



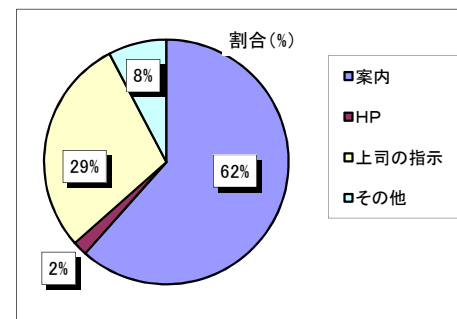
1- (2) : 所属支部

支部	人員(人)	割合(%)
関西	26	50%
中部	0	0%
中国四国	2	4%
九州	3	6%
公共団体	21	40%
その他	0	0%
計	52	100%



1- (3) : 出席動機

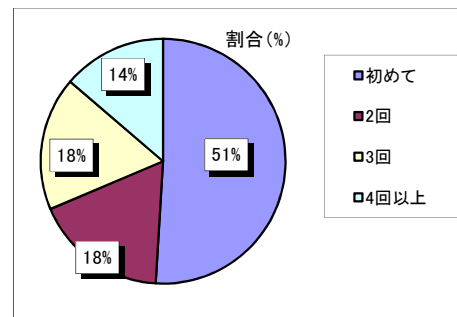
動機	人員(人)	割合(%)
案内	32	62%
HP	1	2%
上司の指示	15	29%
その他	4	8%
計	52	100%



1- (4) : 参加回数

回数	人員(人)	割合(%)
初めて	26	51%
2回	9	18%
3回	9	18%
4回以上	7	14%
計	51	100%

*無回答・・・1名あり



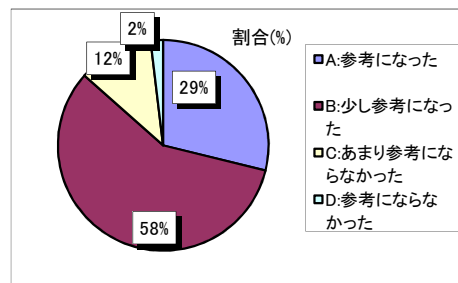
2- (1) : 技術講習会全般について意見・要望

- ・ ミニシールドセグメントの補強はどうすれば良いか？
- ・ 非線形解析のもっと詳しい説明がほしい。
- ・ もう少しゆっくり進めてもらいたい、早すぎると感じた。
- ・ Q&Aの資料がわかりやすくよかった。
- ・ 耐震対策の事例等も内容に含めてほしい。
- ・ テキストに赤線を引くので精一杯であり、カラーの方が助かる。
- ・ Q&Aにもっと時間をかけてほしい。(Q&Aの解説だけの講習会としても有意義だと思う。)
- ・ 改定内容がメインであったが、基本的な耐震設計について話を聞きたかった。
- ・ Q&Aが大変有効であった。
- ・ 今回の講習会資料をホームページでアップしてほしい。
- ・ 構造計算、耐震計算は初心者向けの講習をしてほしい。

2- (2) : 個別内容評価

講演①「第1～3章、第4章第1セッション」

ランク	人員(人)	割合(%)
A:参考になった	15	29%
B:少し参考になった	30	58%
C:あまり参考にならなかった	6	12%
D:参考にならなかった	1	2%
計	52	100%

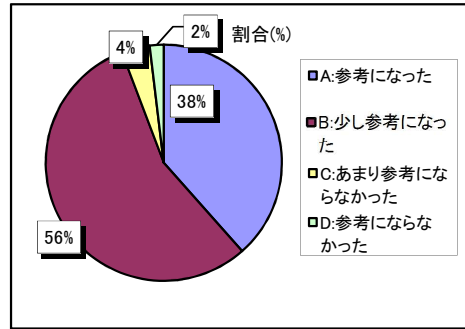


【気づいた点】

- ・ 話が早すぎた。もう少し要点を絞ってほしい。

講演②「第4章第2セッション」

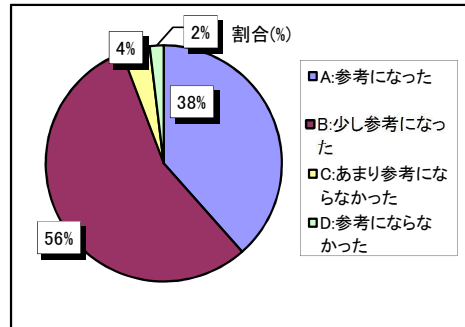
ランク	人員 (人)	割合 (%)
A: 参考になった	20	38%
B: 少し参考になった	29	56%
C: あまり参考にならなかった	2	4%
D: 参考にならなかった	1	2%
計	52	100%



【気づいた点】

講演③「第4章第3セッション」

ランク	人員 (人)	割合 (%)
A: 参考になった	17	33%
B: 少し参考になった	29	56%
C: あまり参考にならなかった	5	10%
D: 参考にならなかった	1	2%
計	52	100%



【気づいた点】

・ 難解な内容だった。

2- (3) : 来年度以降の技術講習会の希望テーマ

- ・ 津波の考え方、防食の設計例
- ・ スtockマネジメント実例
- ・ スtockマネジメント
- ・ 下水道施設の耐震指針と解説について
- ・ 総務省から出されている各自治体への「経営戦略」について。それに伴う水道のインフラ長寿命化計画（行動計画）の策定について
- ・ 長寿命化（管路）
- ・ 耐震計算例（処理場・ポンプ場編）
- ・ 水管橋耐震補強の詳細設計
- ・ 長寿命化業務について

◆ 関西支部の活動について

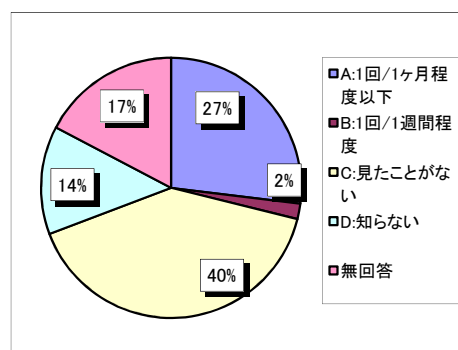
1. 支部活動全般について希望・要望

- ・ 回数をもっと多くしてほしい。

2. 関西支部のホームページについて

2- (1) : ホームページの閲覧頻度

ランク	人員（人）	割合（%）
A:1回/1ヶ月程度以下	14	27%
B:1回/1週間程度	1	2%
C:見たことがない	21	40%
D:知らない	7	13%
無回答	9	17%
計	52	100%



2- (2) : ホームページの意見・要望